

## 『生活環境部会』を紹介します



花西地区まちづくり協議会  
副会長 菅原健 (生活環境部会担当)

当協議会の生活環境部会は、花西地区内における道路の環境整備や美化緑化、ゴミ集積施設の整備について、各町内の課題を把握し現場確認を行い協議することをメインに活動しております。

具体的な事業内容としては、市道の側溝整備工事や公共花壇の整備、ゴミ集積所の修繕・改築です。これらのいわゆるハード事業は、当協議会発足当初から重点的に取り組んできた事業です。花西地区は比較的インフラ環境が整った地域ではありますが、近年の宅地開発もあり、今後も道路整備や老朽化したゴミ集積所の修繕等が継続して必要です。

来年度には「希望郷いわて国体」が開催され、花巻市にも県内外から多くの来訪者が見込まれます。その方々を花で歓迎するために、当協議会としても「花いっぱい運動」に参加し、当部会を中心として花西地区内の美化緑化に取り組む計画です。

これからも地域住民の皆さんが安心して快適に暮らせるよう、日頃から各地域の課題に目を光らせて迅速な課題解決につなげるために、努力してまいります。

## ❖ 『交通安全推進モデル地区』に指定されました ❖

今年度当協議会が花巻市より『交通安全推進モデル地区』として指定を受けました。このことにより、地域の皆さんに日頃の交通安全意識をより一層高めて頂くために、当協議会では下記の事業に力を入れて取り組んでおります。

住民の皆さん、この機会に今一度交通安全について深く意識してみませんか。



「一日警察署長」が花西振興センターを訪問しました (9月24日)

- ・ 自転車走行安全意識啓蒙チラシの全戸配布 (※9月1日号広報折込にて配付済み)
- ・ 花巻市交通安全コンクール『100日間無事故・無違反★チャレンジ100』への参加
- ・ 交通安全教室の開催



鎌田会長 挨拶



合唱 若葉町



フラダンス 石神町

## 発表会華やかに開催される

6月21日、ギンドロの木が葉を白と緑が瞬時に入れ替わり、キラキラした若葉の季節の到来を告げています。

ここギンドロ公園に隣接する文化会館では800人を超える観客を集め、「第5回みんなが参加できる文化祭演芸発表会」が開かれました。

この日のために日夜を問わず毎週稽古に励む舞踊の皆さん、月1回の和やかな合唱練習、見事に復活を果たした郷土芸能、きびきびした幼稚園児のまとい振りやソーラン踊りなどなど、練習の成果を十分に発揮できた舞台でした。

発表会が住民相互の交流と親睦を深める役割を果たせたことと、皆様のご協力に感謝申し上げます。



尺八二重奏 西大通り



和太鼓 藤沢町



踊り 北万丁目



合唱 材木町



合唱 南万丁目



西公園保育園



若葉保育園



ぎんどろ児童合唱団



かせ踊り保存会

## ● 保健福祉部会からのお知らせ ●

### 「美味しい減塩料理教室」の受講生を募集します！

日 時：11月6日（金）10時から13時  
場 所：花巻保健センター調理実習室  
講 師：栄養士（花巻保健センター）  
人 数：先着15名  
持ち物：エプロン、三角巾、筆記用具など  
申込先：花西地区まちづくり協議会事務局  
☎29-4511  
10月30日（金）申込締め切り



受講料は無料です。男性の方の参加も大歓迎です。塩分のとり過ぎは高血圧及び脳卒中発症のリスクを高める原因になります。みんなで「減塩・適塩」について実際に調理しながら楽しく学びましょう！

ご存知ですか？



塩分と血圧は密接な関係があります。塩分をとり過ぎると身体は体内の塩分濃度を一定に保つため、水分を血管内に吸収します。このことによって血液量が増え、末梢血管への抵抗を高めることで血圧が高くなるといわれています。また、高血圧の状態が長く続くと脳卒中の発症リスクが高まります。

#### ★毎月28日は「減塩・適塩の日」です！

岩手県と岩手県脳卒中予防県民会議では、県民のみなんで塩分のとり過ぎに注意し、健康を考える日として、毎月28日を「いわて減塩・適塩の日」と決めました。

#### ★岩手県はワースト1……

国が公表する最新の統計によると、岩手県の脳卒中死亡率（年齢調整死亡率）は、男女共に全国ワースト1となっています。また食塩の摂取量も全国ワースト1です。

#### ★一日の食塩摂取量の適量は？

厚生労働省が定めた「日本人の食事摂取基準2015年版」では、生活習慣病を予防する観点から、一日あたり男性8g未満、女性7g未満を目標としています。

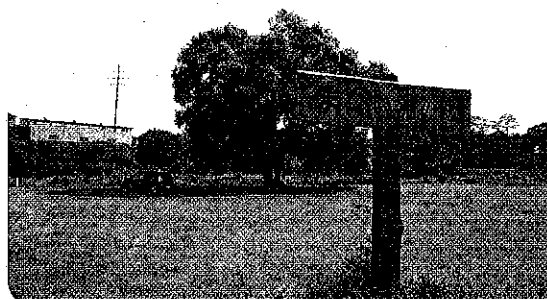
### 塩分の目安量

- みそ汁1杯：1～2g
- うどん・ラーメン1杯：4～6g
- 梅干し小1個：1～2g
- たくあん2切れ：1g
- しょうゆ小さじ1：1g
- ソース小さじ3：1g

## 花巻地区の歴史

宮沢賢治（明治29～昭和8年）  
と石神町 その1

石神町 阿部彌之



まごい淵跡地

### ○ 賢治ファンの聖地

ここ石神町は宮沢賢治ファンの聖地、花巻の中でもその中心となる場所である。

先生として「愉快的毎日を過ごした」と書物に著した花巻農学校がこの地にあった。生徒たちに童謡や詩の原稿を読み聞かせたり、清書の作業を手伝わせたり、シナリオを書いて、熱心に演劇に打ち込んだのもこの学校のことでした。また生前に刊行した二冊の著書「心象スケッチ」と名付けた詩集『春と修羅』やイーハトーヴ童話集『注文の多い料理店』を発行したのもこの学校に勤務していたときのことです。そしてここ石神には賢治が、一晩で書いたといわれる『建立勸進文』を著して、その建立を熱望した法華堂が今では身照寺となつて実現し、この寺には宮沢賢治供養の五輪塔と宮沢家の墓地があるからです。

この地、石神に暮らす私たちは、賢治が創造し、その想いを託した言葉「イーハトーヴ」(理想郷)の住人だとの自覚をせめて持ち続けたいものです。賢治が描いた「イーハトーヴ」とは「そこではあらゆることが可能である。人は一瞬にして氷雲の上に飛躍し大循環の風を従えて北に旅することもあれば赤い花杯の下を行く蟻と語ることもできる。罪や哀しみでさえそこでは聖(きよ)くきれいに輝いている」(童話「注文の多い料理店」広告文より)

つまり、イーハトーヴの住人である私たちは、何事にも創造を巡らせて、正しく新しい生き方をめざそう。朝の新鮮な田園の風と光の中で育った華果のようになろう。それは滋養に満ちていて、しかもつややかで美しく存在することを目指そうという提案ではないでしょうか。

### ○ 賢治と石神町との深いつながり (友人、知人)

- ①阿部 孝 (明治28～昭和53) 鮎幣稻荷神社宮司、阿部有孚(ゆうふ)の長男、旧制盛岡中の同級生で友人、東京大学文学部卒、旧制高知高等学校教授、高知大学学長。阿部の下宿を訪れた賢治が書架から萩原朔太郎の詩集『月に吠える』を取り出し「不思議な詩だなあ」と言って自らも詩作を始めたといわれている。
- ②阿部千一 (明治26～昭和47) の家がありました。旧制盛岡中学の2年先輩、寮と一緒に交流があった。東京帝国大学法学部卒、衆議院議員、岩手県知事。
- ③阿部末吉 (明治28～昭和54) 千一の末弟 旧制盛岡中学で一年先輩、寮と一緒に交流があった、東北帝国大学工学部卒、東北帝国大学工学部教授、岩手大学工学部教授。
- ④小原 忠 (明治42～平成10) 鮎幣稻荷神社の前にあった「田瀬屋」(たんせや)で育ち、花巻農学校一期生、賢治の教え子 奨学金支給先を世話、盛岡高等農林学校卒、岩手県庁、水沢農林事務所所長。

### ○ 「風の又三郎」の一部となる「さいかち淵」の舞台がありました

石神町の男子たちは夏の水遊びは「まごい淵」という豊沢川の右岸で遊ぶのがいつものことでした。花巻農学校からこの淵までの道筋には私の記憶でも直径1mを超える「さいかちの巨木」が4～5本はありました。

### ○ 昭和16年島耕二監督の映画

「風の又三郎」のロケ地としてこの淵と中根子の「川原小屋(からごや)淵」が使われたそうです。

「お、おれ先に叫ぶから、みんなあとから、一二三で叫ぶこだ、いいか。あんまり川を濁すなよ、いつでも先生云うでないか」(さいかち淵)

